

様式第4号

2023年5月1日

伊丹市議会議長

様

議員名 岸田 真佐人



2023年4月政務活動費収支報告について

伊丹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、別紙のとおり
2023年4月政務活動費収支報告書を提出します。

(別紙)

2023年4月政務活動費収支報告書

議員名 岸田真佐人

1 収入

政務活動費 60,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費		
研修費		
広報費	60,000	チラシ作成、印刷 ウェブサイト作成と管理
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	60,000	

3 残額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費 出納簿

議員名：岸田 真佐人
(単位：円)

今年度(政務活動費)予算額 ⇒ **60,000**

領収書番号	支出年月日	支出項目	収入額	支払額	支出総額	対予算残額
1	2023年4月30日	広 報 費	0	30,000	30,000	30,000
2	2023年4月30日	広 報 費	0	30,000	60,000	0
不(3)要	2023年4月20日	支 給 額	60,000	0	60,000	0

政務活動費集計表

議員名：岸田 真佐人

(単位：円)

支出総額：60,000

月/日	支給額	支出項目										支出額	領収番号書
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費		
計	60,000	0	0	60,000	0	0	0	0	0	0	0	60,000	
2023年4月30日				30,000								30,000	1
2023年4月30日				30,000								30,000	2
2023年4月20日	60,000												(3)

参考書類 2-1

〔調査研究費、研修費、**広報費**、広聴費、要請・陳情活動費、会議費〕 ※該当項目を○で囲む

報 告 書

領収書
番号

1, 2

日時	2023年4月30日	
場所 (視察地)	大阪府泉佐野市旭町13-17	
参加者 出席者 相手方	栗山 由壮	
目的 内容 結果 (成果) 等	<p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 自身の活動方針を市民に伝えるため 自身の活動報告をするため 市民からの要望を集めるため 市民に活動報告をするため ウェブサイトへの誘導をするため ウェブサイトを毎日更新するため <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ウェブサイト運営 https://itaminomirai.studio.design/top 活動報告ブログ、活動方針、コメント ジャーナル発行 (別紙) <p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 街頭活動中、ウェブサイトの内容をもとに市民の意見を聞いた ウェブサイトのコメント欄から市民の要望を聞いた ジャーナルを配布することで訪問活動を活性化することができた ジャーナルを配布することで公式ウェブサイトの閲覧者が増えた 街頭でジャーナルを配布することで、市民との接点が生まれた 	
上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等	金額(円)
	ウェブサイト更新作業料 平日は毎日	30,000
	Journal デザイン・コピーライト・編集	22,000
	Journal 印刷費 1400部	8,000
	税	6,000
	合計	66,000

《領収書添付台紙》

領収書 番号	1
-----------	---

【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用）

※重ならないように貼付すること。

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。

支出内容	ジャーナルのデザイン・コピーライト・編集		
総経費	33,000 円	政務活動費として 計上する額	30,000 円

按分内容

ジャーナルの中で議員の写真や名前が占める割合は10%程度であるため、自己負担を3,000円（10%支出）とした。

領収書

2023.04.30
請求番号：20230621-07

岸田 まさと 様

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 **¥33,000-**



栗山 由壮

〒598-0052

大阪府泉佐野市旭町13-17

phone 090-9612-0173

mail

nombredesign@gmail.com



品番・品名	数量	単価	金額
Journal Vol.15			
デザイン制作費 (ディレクション・デザイン・コピー・編集・撮影)	1	22,000	22,000
印刷費 1,400部	1	8,000	8,000
		小計	30,000
		消費税 (10%)	3,000
		合計金額	33,000

THE FUTURE OF ITAMI | Vol.15 2023

2023
Vol. 15

THE
FUTURE
OF
ITAMI

Journal

Feature

ひつわりじんべい
対談 「櫃割仁平」
03/04

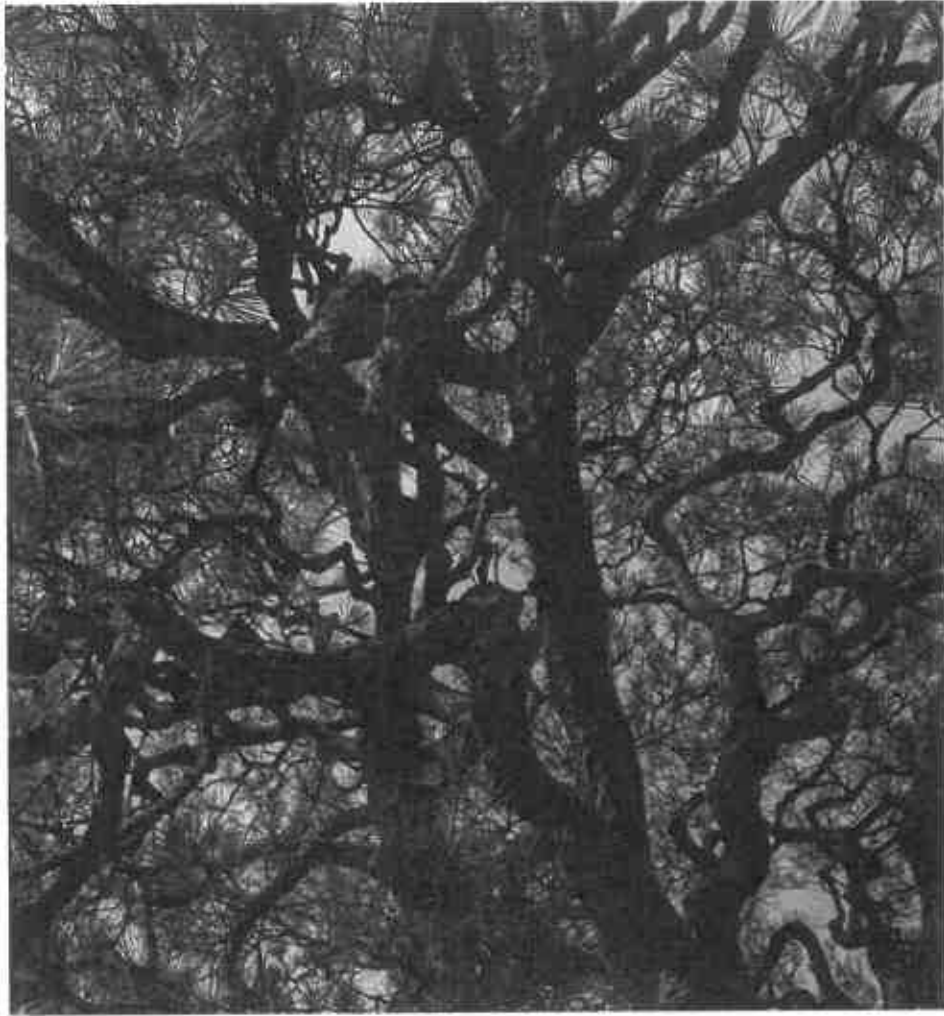
Publisher
MASATO KISHIDA
Itami-City council member



対談

櫃割仁平 ひつわり じんぺい

第3回「全4回」



もうちょっと保護者も寛容になって、社会も寛容になって、学校の先生が言いやすい雰囲気だったらいいのになって。

岸田真佐人(以下 真)若者の政治参加ってよく話題になっていて。じんぺいさんは若者の政治参加についてどう思っています。

櫃割仁平(以下 仁)僕も意識高い系の学生に当たると思うんですけど、その意識が高い人たちが若者へ一緒に選挙に行こうよというふうに言ったとて、届いてないことはいけど、世界が違ってる感ですごく感じていて、たとえばいくらツイッターでフォロワーが何千人っていたとしてもその人たちは見るかもしれないけど、その人たちってはなから行く層なんですよね。問題意識を持って発信を見ようとか情報収集をしよう、って人たちだから、そこに呼びかけて届いたとて、やっぱり行く人は行くし、行かない人は行かない。そのハードルを乗り越えていない感はずい感じ

ていて。主権者教育って大事なのが小学校とか早い時から自分ごとになってもらう。社会と接続するよいうな教育ができたらいのかなって思っんですね。北欧とか若者の投票率も、80〜90%とかですけど、やっぱり先生にこれやってと言われるんじゃないかって。自分で決めることとか、自分の決定が学校に反映されてるといふ体験をしてるって言いますよね。そういうことを考えると、まだまだ学校とか教育で僕はもう結構そこね。最後繋げちゃうんですね。

真 結局、この問題は高齢者は選挙に行ってるけど、若者は選挙に行かない人が多いという問題ですよ。この間、伊丹市内のカフェでそれがテーマのイベントに参加したんですね。そこにいた教育関係者が私1人でめちゃめちゃ責められました。学校で教えないアカント。私は学校で選挙は大事だよ。民主主義国家というのは、選挙で政治

が動いていくんだよって、教えることで投票率は上がりますかってアンチ(の立場)で言ったら、まずまず叩かれました。

仁 そうかもしれないですね。

真 一方的に教え込む教育じゃなくて意見が反映されるような学校になれば投票率が上がるんじゃないかということですよ。

仁 そうですね。

真 私もそれはそうだなと思うんですけど、その時は、社会科などの授業で選挙の大切さを教えたらいいんじゃないですかって聞いて

(受け取って)しまったんですよ。私が言ってる方から深掘りしなかった。でも、そんな単純なものじゃない。

仁 もう、それは絶対そうですね。

真 私の先輩の先生で、もう口酸っぱくして投票行けよ。20歳になったら投票行けよって言う先生いたんですよ。それが投票率アップに繋がるとは思えないですね。

真 大体、学校の先生が価値観を強制したら、普通反発します。

仁 逆にね。

真 そんな中で、学校に投票率を

上げるためには学校が頑張らないといけないというのは、昔の価値観ですっていわれている箸の持ち方も学校で、とかそういう理論の延長だなんて思っんですね。

仁 じゃあ、どこが変わったら若者をもっと政治に興味向いたりかっていうのはあつたりしますか。その、教育じゃないとしたら。

真 1つは親が行くことです。

親が投票に行くときの考えてる顔とか、真剣な顔とか見たら、やっぱりかっこいいじゃないですか。選挙だけじゃないんですね。

読書の問題も親が本読めば子も読むと思うんですけど、学校で読書の時間作るとかも根本は同じ問題だと思います。

仁 それでも親の親は選挙に行つてなかった人だったろうし、みたいな感じで連鎖するんですね。それもさっき言ったように、その人たちの世界と、ずつと行ってる人たちで行くのが普通だよ、って言



つてる世界のそこが全然出会ってない感じがしますね。

真 教育は究極、格差を埋めるためにあると思うんですよ。そういう勉強にしてもお金のある人は学校なんかなくてもいろんな教育受けようと思ったら受けられますけど、そうじゃない人もいろんな可能性を学校に行くことで持てますから。政治への参加も学校でも役割はあると思います。私が思うのは例えば、5年前に集団的自衛権がありましたよね。その頃、秘密保護法とか東京では結構学生が立ち上がったりもしてましたけど。そういう際どい問題で世論を2分するような問題って学校で扱うのは、結構タブーなんです。先生たちは、恐れて誰も取り扱わないんです。私はそこが1つ問題だと思います。

仁 間違い無いです。完全同意です。真 中立とか政治的中立とかって叩き込まれて、そこが変わらない

とダメかなと思いますけど。

仁 どうも先なのが難しくって、やっぱり学校の先生も、保護者とかから叩かれるのが嫌じゃないですか。保護者も社会から叩かれるのも嫌じゃないですか。変なこと言ったりとか、若干寄ったような、絶対寄らないって無理だと思っんですけどとはいえ、あけ足取るうと思ったらいくらでも取れるトビツクだと思っんで、だからもうちょっと保護者も寛容になって、社会も寛容になって、学校の先生が、教えやすくて、言いやすい雰囲気だったらいいのになって、お互いも言っただ方がいいし、社会ももう少し許してあげた方がいいなとか思いますけどね。

真 そつですよ。

この対談の詳細は下記のQRコードから「いたみのみらい」Webサイトで対談記事、動画で公開していきます。

THE FUTURE OF ITAMI!

いたみのみらい

もっと魅力ある伊丹に!

AERO CITY ITAMI

伊丹市議会議員 岸田 実

HASATO KISHIDA
Itami-City council member

1964年生まれ。1989年から伊丹市で30年間、中学校教諭として勤務。2019年から伊丹市議会議員。「教育環境から変えていく」をテーマに伊丹市を盛り上げ「安住したい街」「移住したい街」をめざします。

いたみのみらいWebサイト 皆様の貴重なご意見を随時募集しています。▶▶▶



《領収書添付台紙》

領収書 番号	2
-----------	---

【領収書添付枠】（スペースが不足する場合は裏面を使用）

※重ならないように貼付すること。

※按分の場合は、按分の内容と政務活動費として計上する金額を記載すること。

支出内容	ウェブサイト更新作業 1か月分		
総経費	33,000 円	政務活動費として 計上する額	30,000 円

按分内容

ウェブサイトの中で議員の写真や名前が占める割合は10%程度であるため、自己負担を3,000円（10%支出）とした。

領収書

2023.04.30
請求番号:20230621-03

岸田 まさと 様

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 ¥33,000-



栗山 由壮

〒598-0052
大阪府泉佐野市旭町13-17
phone 090-9612-0173
mail nombredesign@gmail.com



品番・品名	数量	単価	金額
サイト更新料(4月)	1	30,000	30,000
		小計	30,000
		消費税(10%)	3,000
		合計金額	33,000